



市議会だより



contents

- 02 ◆ 9月定例会の概要
議事内容（抜粋）
- 03 ◆ 議決結果
- 04 ◆ 常任委員会の報告
- 06 ◆ 一般質問
- 13 ◆ 行政視察報告
- 14 ◆ 議会改革に関する諮問

vol.179

2025. 12. 1

発行／宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747（直）

編集／広報委員会

◆一般会計補正予算

可決

◆防災行政無線整備工事

9月 定例会の 概要

9月定例会は9月18日から10月17日までの30日間の会期で開かれ、市から提出された「令和7年度宇治市一般会計補正予算（第4号）」をはじめとする10議案が可決・同意されました。（3面に議決結果を掲載）

市政に関する一般質問は、9月26日、29日、30日の3日間にわたり、14人の議員が個人質問を行いました。（6～12面に掲載）

議事内容(抜粋)

可決

令和7年度 一般会計補正予算(第4号)

補正額は4億9560万円の増額で、予算総額は848億3622万6千円となる。歳入では国庫支出金、寄付金及び市債を計上している。

<主な事業名とその概要>

●物価高騰対策給付金事業費追加

令和6年の所得確定で定額減税し切れなかった人等への給付金の不足分に要する経費

●善法複合施設整備事業費追加

善法青少年センター体育館及び新館棟の解体に要する経費

●宇治プレミアム体験創出事業費

観光協会が造舟した紫式部舞台舟を船上プレミアムダイニングへ改修し、宇治ならではの食体験を通じた魅力発信に要する経費と債務負担行為※の設定

●(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業費追加

(仮称)西小倉地域小中一貫校整備におけるスライド条項適用等に伴う経費

●庁舎警備等業務委託事業

庁舎の警備業務及び宿日直業務の民間委託に要する経費の債務負担行為の設定

※債務負担行為：翌年度以降に債務を負担（支出）することが必要な事業について、あらかじめ予算として定めておくもの

否決

令和7年度一般会計補正予算 (第4号)に対する修正案

補正予算のうち、庁舎警備等業務委託事業の債務負担行為設定（1億2300万円）を削除することを提案する。



9月定例会

議決結果

◆すべての会派が賛成した議案

議事内容 (注2)	
議案	令和7年度一般会計補正予算(第4号)
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正<総務>
	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正<建設・水道>
	防災行政無線整備工事の請負契約の締結<総務>
	財産取得(=塵芥車)<産業・人権環境>
	市道路線の認定<建設・水道>
	市道路線の廃止<建設・水道>
	財産取得(=宇治西小倉学園造作家具一式)<文教・福祉>
	監査委員の選任同意
	教育委員会委員の任命同意
諮問	人権擁護委員候補者の推薦に意見

◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成、×印=反対

議事内容 (注2)		議決結果	会派名					無会派	無会派	無会派	無会派
			未来	共産	自民	公明	宇治	1	2	3	4
議案	令和7年度一般会計補正予算(第4号)修正案〔議員提案〕	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×
意見書案	生活保護基準引き下げ訴訟判決を踏まえた改善を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	×	○	×
	パレスチナを国家承認し、ジェノサイドの早期終結に力を尽くすよう求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	×	○	×

(注1) 議長のため表決に加わりません。

(注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。

※ 議事内容(抜粋)は2ページに掲載しています。

(以下敬称略)

監査委員の選任に同意

議会は、監査委員の選任に同意しました。

- 監査委員
- いけがみ

てつろう

池上 哲朗 (再任)

教育委員会委員の任命に同意

議会は、教育委員会委員の任命に同意しました。

- 教育委員会委員
- なかすじ

なおこ

中筋 斉子 (再任)

人権擁護委員候補者の推薦に適任の意見

議会は、人権擁護委員候補者の推薦に適任と意見を付しました。

- 人権擁護委員候補者
- きたむら

よしみ

北村 芳美

いちむら

ゆか

市村 由香



総務

9月25日 防災行政無線整備工事の契約を審査

市の説明

大規模な自然災害に備え、迅速・確実に市民等へ防災情報を伝達できる環境を整えるため、移動系防災無線154機の更新と新たに同報系防災行政無線を整備する。

工事内容は同報系親局1基をうじ安心館に、同報系再送信子局1基を池尾地域に、同報系屋外拡声子局40基を小・中学校、公園や公共施設等、市内一円に設置し、併せてテレビや携帯電話などを持たない情報取得が困難な世帯等を想定した戸別受信機2000機を整備する。契約金額は7億3962万7106円で工事期間は令和8年6月12日までである。

委員からの質疑

問 実際の運用開始のタイミングは。

答 工事完了の令和8年6月12日以降に本格運用を開始する。それまでに試験放送を実施するなど準備を進める。

問 予定価格と契約額に1億5600万円ほどの差があるが、人件費や機器購入費など、どの部分で安くなったのか。

答 主な要因は機器費の価格を低減されたためである。

問 防災行政無線の設置により電波障害が心配されるが、発生する可能性は。

答 市の同報系防災行政無線は総務省から割り当てられた専用の周波数を使用するため、通常運用の中で電波障害が発生する可能性は極めて低い。

問 設置後のメンテナンス費用は年間で幾らになるのか。

答 近隣の事例では交換等が必要な部品代を除くと、年間で約500万円前後の維持管理費となっている。

問 高齢者や聴覚に障害のある人に対し、整備する防災行政無線はどのようなメリットがあるのか。

答 聴覚に障害のある人等のために文字表示盤に緊急放送内容を表示する機能を持つ戸別受信機を準備する。

採決

全委員の賛成で可決すべきものと決した。



産業・人権環境

10月6日 財産取得を審査（塵芥車）

市の説明

平成23年度・平成25年度に更新した塵芥車を老朽化等に伴い更新整備する。取得金額は3009万円、納期は令和9年2月26日。

車両本体は排出ガス適合ディーゼル車、2トン級シャーシ、総排気量2990cc以上、ハイルーフ車としている。また、廃棄物を積み込む荷台部分の積載容量は4.3m³程度で、回転する板で投入した廃棄物を荷台の奥へ押し込む連続回転式による積み込み、ダンブ式による排出となっている。

処分車両は官公庁オークション等を活用し、売却する予定である。

委員からの質疑

問 今回購入するディーゼル車は10年から15年使用することになるが、市の環境戦略や国・府の方針が強化されれば、更新時期が早まる、売却時の価値が大きく下がるといったリスクがあるのでは。

答 電気自動車が一部ごみ収集や運輸関係に導入されているものの、現時点では高額なため、依然としてディーゼル車が主力となっている。車両技術革新の動向も見ながら、脱炭素推進につながる調達は、機会を捉え今後も検討していく。

問 電気自動車及び電気ステーションの設置には費用がかかるとのことだが、塵芥車を電気自動車に変えている自治体はどれくらいあるのか。

答 メーカーと共同研究、実証実験というような形で、使用しているのは全国で1つ、2つと捉えている。

問 およそ6000カ所のごみ集積場所を網羅するのに現在の塵芥車の稼働台数は17台。ごみの減量を推進すれば、台数を削減できるということなのか。

答 年々ごみの総量は減少しているので、必要台数は状況を見ながら検討していく。

採決

全委員の賛成で可決すべきものと決した。



建設・水道

10月7日 JR黄檗駅前広場の再整備を報告

市の説明

JR黄檗駅のバリアフリー化に伴い、駅前広場の再整備（形状変更）を行う。駅舎が約1.5m駅前広場側に拡張されるため、ロータリーを北側に拡張し、バス停の位置を駅舎の近くに移動して、1台分のバス用スペースを設ける。ロータリー南側には新たに身体障害者用スペースとタクシー用スペースを各1台分、東側には現状と同様に交通島の停車スペース2台分を整備する。また、歩道に連続した点字ブロックを設置し、バス用スペース、身体障害者用スペース及びタクシー用スペースに駅舎と連続したシェルターを設置する。

令和8年2月頃から工事に着手し、同年8月末の完成を目指す。事前に工事看板や工事ビラにて周知を行うとともに、工事中は駅前広場内での仮歩道の設置、迂回路の案内や交通誘導員などを適切に配置し、利用者の安全対策に努めていく。

委員からの質疑

問駅前広場には病院の送迎バスなども乗り入れている。工事期間中も停車スペースは確保されるのか。

答安全に使用できるよう、今後各施設と調整したい。

問歩道部分がこれまでより狭くなるが不便はないのか。

答横断歩道に向かう歩行者距離は少し延びるが、車椅子が擦れ違える2.5m幅の歩行空間を確保している。

問府道にゼブラゾーンを設け、点滅信号が赤のときにバスがスムーズに出られるように検討しては。

答警察と協議したが追加設置は厳しい。今後の利用状況によってはさらに警察へ伝え、府とも相談していく。

問シェルターの設置により、利用者は雨でも車やバスを降りてから濡れずに改札まで行けるのか。

答駅舎のひさしとシェルターを重ねて配置しており、通常の雨であれば移動時に濡れることはない。

問黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づく各事業は、あとどれくらい残っているのか。

答駅舎整備は今年度3月末で終わる予定で、駅周辺道路路整備等が残るが、市の分はおおむね着工している。



文教・福祉

10月3日 令和7年度京都府学力・学習状況調査結果を報告

市の説明

京都府学力・学習状況調査は、小学校4年生から中学校3年生までの一人一人の学力・学習状況の変容を経年比較することを目的に実施している。今回の結果は府平均と同じような傾向で、全ての学年・教科において学力ステップの伸びが見られ、授業改善に取り組んでいる成果が表れていると考えられる。

質問調査では、読書時間について学年が上がるごとに減っている状況で、府平均と同様の傾向である。低学年や幼児期からの読書習慣がその後の読書活動の定着に大きな影響を与えることから、就学前施設と連携した取組が必要と考える。

委員からの質疑

問今回の調査結果をどのように考えるか。また、ICTの活用が進めば進むほど書くことによる暗記の力などが弱くなってしまうという課題があるのでは。

答各校の実態に合わせたアクションプランを実施しな

がら適切な手だてを講じてきた成果が表れていると考える。書く力も重要視しており、発達段階により積み上げ、さまざまな思考の中で要約しながら自分の意見を書く力を身につけることを目指し授業改善を進める。

問教育委員会は子どもも先生も生き生きとした学校にしたいと思っている一方で、学力調査は子どもや先生のストレスになっているのでは。

答市教委は子どもも教員も余裕を持つことを目指している。教員は調査結果を授業改善につなげるため日々活動しているが、その時間をしっかりと生み出せるよう市教委として力を入れて取り組んでいく。

問調査結果報告は前年比較や全国・府との比較になってしまう。それよりも教員が個々の児童生徒にどのようなサポートをして、どのような成果が出たのか、現場の苦労といった内容の報告は難しいのか。

答子どもが大人になったときに、社会的に自立し、幸せに生きる、楽しい生活を送るために、人間性・社会性・専門性（学力）といった生きる力をつけることが学校教育であるが、授業以外で培われていく人間性・社会性を統計として表すことは難しい。

一般質問

無会派

さ さ き ま ゆ み
佐々木 真由美 議員



不適切保育等の再発防止の取組は

答弁

宇治市版ガイドラインを作成し、虐待等の防止に取り組む

問市内公立保育所で保育士が行っていた行為が心理的虐待及び不適切保育だったと認定された。再発防止の取組と起こったときの対処は。

答【福祉子ども部長】 職場会議で日々の保育の振り返りの徹底を図り、不適切保育防止の研修を公立保育所の全職員が受講することに加え、通報窓口の周知を徹底した。また、民間保育施設とも調整して、宇治市版ガイドラインを作成し、虐待等の防止に取り組む。

問保護者の信頼を回復するための手だては。

答【同部長】 公立保育所での公開保育を予定している。今後も一層きめ細かく保護者とコミュニケーションを

図ることにより、信頼関係を築けるよう努めていく。

盗撮事件による教員逮捕を受け、事件が起こった場合の対処は

答弁

被害に遭った児童生徒の保護、心身のケアを最優先に行う

問最近、教員による学校での盗撮に関わるニュースを度々目にする。市内小学校でも盗撮したとして教員が逮捕されたが、再発防止の取組と事件が起こった場合の対処は。また、信頼を回復していく手だては。

答【教育部長】 盗撮を含む児童生徒性暴力等は原則懲戒免職の対象となること、複数の教職員における児童生徒への指導、校内の定期的な点検を行うなどの留意事項を示し、未然防止の指導監督の徹底とコンプライアンス研修の実施を校長会で指示した。また、児童生徒や教師等への定期的なアンケート調査や安心して相談できる環境整備に取り組み、事案が発生した場合は被害に遭った児童生徒の保護、心身のケアを最優先に行い、スクールカウンセラーの派遣など学校全体で被害者に寄り添った支援を行う。本市公教育への信頼が深まるよう、全ての学校関係者とともに努めていく。

自民党議員団

わた なべ こう じ
渡辺 浩司 議員



市民ニーズに応じた育成学級の充実を

答弁

他自治体の取組の研究や保護者からの意見を聞きながら、育成学級の在り方を検討する

問子どもまんなかプランの策定に当たり実施した子ども・子育て支援に関するニーズ調査では、育成学級を充実させてほしいという意見があった。共働き世帯の増加等、時代の変化に応じて市民ニーズも変化し、他自治体では長期休暇中の8時以前の開設や昼食の提供など育成学級の充実に取り組んでいる。市の認識は。

答【福祉子ども部長】 子ども・子育て支援に関する調査や保護者会からの要望、指導員等を通じてさまざまなニーズの把握に努めており、指導内容の工夫や開設時間の延長、施設、設備の改善などの意見を聞いている。仕事と子育てを両立して働き続けられるよう、多

様で柔軟な保育サービスの提供や総合的な放課後児童対策による基盤整備を図り、他自治体の取組研究や保護者からの意見を聞き、育成学級の在り方を検討する。

問子育て・子育てにやさしいまちの取組の一つにある、子ども医療費助成制度の高校生年代までの拡充の検討状況と拡充した場合の支給にかかる所要額は。

答【健康長寿部長】 府の動向等を見定めながら検討しており、市試算で約1億7000万円と見込まれる。

榎島町二十四交差点の事業の進捗は

答弁

今年度は歩道整備が行われる予定。引き続き国と連携し、着実に事業が進捗するよう取り組む

問榎島町二十四交差点は慢性的に渋滞し、通学路にもかかわらず歩道がなく、交通量も多くて危険である。国による道路拡幅事業の進捗状況と本市の考えは。

答【建設部長】 国は当該交差点の前後約450m区間の両側に3.5mの歩道を整備し、右折レーンの設置を進めており、今年度は歩道整備が行われると聞いている。市として引き続き地元調整など国と連携し、着実に事業が進捗するよう取り組んでいく。

公明党議員団

いな よし みち お
稲吉 道夫 議員



窓口サービスのデジタル化推進に市の考えは

答弁

窓口改革と業務効率化の取組を一体的に進め、人に優しいデジタル社会の実現を目指す

問 デジタル行政の推進は、市民の利便性向上や行政の効率化、職員の業務負担軽減などに効果を発揮する。本市のデジタルを活用した窓口サービスの実施状況は。

答【政策企画部長】 コンビニでの証明書交付やオンラインによる27種類の手続きを可能とするぴったりサービス、引越しワンストップサービスなど、来庁しなくても手続きができるよう取り組んでおり、今後とも順次拡大していく予定である。

問 市川市のような、待たない、書かない、行かない窓口サービス改革を含め、デジタル化推進について考えは。

答【市長】 生活スタイルやニーズが多様化している中、

市民が便利でスピーディーになったと実感できる窓口業務改革を進めることが必要だ。その取組の一つとして、マイナンバー申請窓口で申請書に氏名等4情報を書かない取組を開始する。さまざまな分野の課題解決手段として窓口改革と業務効率化の取組を一体的に進め、人に優しいデジタル社会の実現を目指していく。

図書館にドリンクとともに読書を楽しむ空間を

答弁

本市は館内での飲食を禁止しているが、快適な空間づくりに取り組んでいる

問 他市における図書館内のドリンク自動販売機設置の増加やカフェテラスを併設した図書館空間がある民間施設など、ドリンクとともに読書を楽しむことが当たり前の時代となってきた。図書館の利用促進には非常に有効だと思うが、市の考えは。

答【教育部長】 本市では飲食物による図書資料の汚損を防ぐ等のため館内での飲食を禁止しているが、大型ソファやじゅうたんコーナーの設置により、快適な空間づくりに取り組んでおり、今後も限られたスペースの中で工夫し、利用率向上につなげたい。

京都宇治党・蒼の会議員団

かな が さき ひで あき
金ヶ崎 秀明 議員



豊富な観光財産を生かした周遊観光開発の考えは

答弁

小倉から中宇治地域の周遊性を図るなど、さまざまな整備計画を進めている

問 新名神高速道路の城陽のIC供用開始計画を機に、市長は市内への道路交通網の整備に並々ならぬ熱意を示している。かわまちづくり計画や中宇治の複合施設、歴史公園など財源投資が続いている中、市の豊富な観光財産を生かした周遊観光開発の考えは。

答【市長】 本市には世界に誇るべき多くの観光資源があり、令和6年には観光入り込み客数が初の600万人を超えた。市全体の周遊性を高め、観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげていくことが、ひいては観光産業の発展につながると考えており、小倉地域と中宇治地域や天ヶ瀬ダムと宇治橋、宇治川を

中心とした周遊性を図っていかうとさまざまな整備計画を進めている。新名神が開通するまでの間に、周遊観光の中で何ができるかをしっかり検討し取り組んでいく。

北小倉小学校体育館 武道団体の拠点として利活用は

答弁

武道の専用施設としての利用は想定していないが、多様なスポーツの活用を検討する

問 北小倉小学校跡地活用基本構想では、体育館は防災拠点となる避難場所としての活用やバドミントンなどの室内競技の利用が見込まれているが、青少年の健全育成のために武道団体の拠点として利活用する可能性について、市の見解は。

答【都市整備部長】 現在、宇治市スポーツ推進審議会やアンケート調査など、幅広い世代からの意見を取りまとめ、基本構想の基本計画策定作業を進めている。武道などの専用施設としての活用は想定していないが、市民ニーズや各種団体の意見などを総合的に勘案し、多様なスポーツに活用できるよう、施設の構造的な制約や規模などを考慮し、検討を進めていく。

一般質問

共産党議員団

たに がみ はる ひこ
谷上 晴彦 議員



生活保護世帯のエアコン設置状況の把握は

答弁 令和5年の調査では約97%の世帯で設置されている

問 近年、熱中症による健康被害が数多く報告されており、予防対策に万全を期することが重要だとして、国は全国の自治体に対し生活保護世帯のエアコン購入に向けた助言・指導等に遺漏なき対応を求めている。設置状況の把握が大前提だが、市は把握しているのか。

答【福祉こども部長】 令和5年の生活保護世帯への調査結果では、居宅生活者のうち確認できる世帯において、約97%の世帯でエアコンが設置されている。

問 直近の数値を早急に把握すべきだ。また、国はエアコン購入費の扶助は高齢者等の例示以外でも、自治体が総合的に判断して扶助できる余地を認めている。猛

暑という現実を総合的に勘案して扶助の判断を。

公費負担で井戸水の水質（PFAS）検査を

答弁 現時点で負担することは考えていない

問 発がん性が指摘される有機フッ素化合物PFASの府調査で、市内10カ所の井戸水で基準値を超えている。加えて大久保駐屯地の井戸水も基準値を超えているが、汚染経路を把握する上で重要なPFOS※等の内訳が明らかでない。自衛隊に情報を求めるべきでは。

答【人権環境部長】 検査方法など駐屯地内部で対応を検討されており、今後も情報の共有を求めている。

問 市民の健康を守るため、汚染経路の把握のため市民への水質検査の呼びかけが重要だ。汚染井戸から半径500mに関わらず検査費用を公費負担すべきでは。

答【同部長】 国手引に沿って府が調査を実施しており、現時点で市民への調査の呼びかけや調査費用の負担は考えていない。発生源の特定調査や汚染除去等の具体的な方法等、総合的な対策の提示を国に求めている、引き続き動向を注視し、府と連携して対策を取る。

※PFOS：PFASの一種

共産党議員団

おお かわ なお ゆき
大河 直幸 議員



排外主義に対する市長の考えは

答弁 差別は許されない。全ての人の尊厳と人権を尊重するまちづくりに取り組む

問 外国人を排除せよという主張や動きが出てきている中で、少なくとも数の市民が排外主義に疑問を持ち、全ての人の人権と尊厳を守ることを求めている。市長として、外国籍の市民へメッセージを示してほしい。

答【市長】 グローバル化が進展する中で、市にもさまざまな国籍の人が地域社会の一員として暮らしている。外国人差別は決して許されるものではなく、人権尊重や多文化共生の社会が重要である。現在、第6次総合計画中期計画や人権教育・啓発推進計画の見直しを進めており、外国人を含め全ての人が互いに個人の尊厳と人権を尊重し、差別や偏見なく暮らすことのできる

まち、異文化への理解、多文化共生のまちづくりを視点として位置づけ、積極的に取り組んでいく。

実証運行を発展させ、予約制乗り合いタクシーを

答弁 まずは対象地域での実証運行をしっかりと進め、その効果を検証していきたい

問 市民の買い物や通院などの日常のおでかけ支援は、対象地域や対象者を拡大し、行政サービスコーナーや市役所など地域内の移動に広く使えるものにするべきだ。デマンドタクシーや予約制乗り合いタクシーを走らせてほしいが、実証運行を今後発展させる考えは。

答【都市整備部長】 まずは対象地域での実証運行をしっかりと進め、その効果を検証していきたい。

問 市民の移動を支援する施策を発展させていく方向性を、市は持っているのか。

答【副市長】 新たな移動手段の構築に向けて、令和7年度当初予算で、第一歩となる事業経費を計上し、実証運行に向けた取組を進めている。まずはこうした取組を着実に実施し、その評価、検証に取り組む。今後もしスピード感を持ちつつ、歩みを着実に進めていく。

うじ未来

いま がわ み や
今川 美也 議員



自転車対象の交通反則通告制度 周知・啓発は

答弁 啓発ポスターの掲示や市ホームページでの周知の準備を進めている

問 道路交通法改正により令和8年4月から自転車を対象とする交通反則通告制度が導入される。自転車は子どもから高齢者まで幅広い層が利用する身近な交通手段であり、その影響は大きい。制度導入に向けて警察庁交通局から自転車ルールブックが公表されたが、市は周知・啓発を実施しているのか。

答【都市整備部長】 市の駐輪場への啓発ポスター等の掲示や市ホームページでも確認できるよう準備を進めている。これまでから保育所や幼稚園、小・中学校等へ出向き、正しい自転車の乗り方等、交通安全の周知・啓発を実施しているが、自転車の交通違反の検挙

共産党議員団

とく なが み き
徳永 未来 議員



学校のトイレに生理用品の設置を

答弁 保健室などに配置し、必要に応じて渡す対応を今後も継続する

問 生理用品は、市役所やゆめりあうじなどでは意思表示カードの提示で受け取れるが、学校では私ごとや私生活を確認されるなどハードルが高い。そのため交換を我慢する、トイレットペーパーなどで代用する状況がある。学校や部活動の早退、遅刻、欠席など学校生活に支障を来すという意見があるが、市の考えは。

答【教育部長】 学校生活に不便や困り事があれば、まずは担任がしっかりと子ども達の状況を把握し、状況に応じて養護教諭をはじめ各学校全体で子ども達に寄り添った対応をすることが重要と考えている。

問 学校施設のトイレに生理用品を設置することが必要ではないか。

件数は激増しており、今後も宇治警察署と連携を図る。

厳しい経営状況でも積極的な水道施設の更新を

答弁 管路更新、耐震化を進め、安全な水道水の確実かつ持続的な供給の継続に取り組む

問 物価高騰等の影響により水道事業は継続的な赤字で、企業債の借入れ割合を上げるなど非常に厳しい経営状況だ。一方、全国各地で水道管の破損事故が発生しており、市民も不安を抱いている。積極的に水道施設の更新を進めるべきだと考えるが、今後の経営方針は。

答【市長】 市内に約700kmある水道管のうち、法定耐用年数とされる40年を超過した割合は令和6年度末で33.3%、10年後には52.9%まで上昇する見込みであり、これまで以上にスピード感を持って管路の更新、耐震化を進めていく。一方で給水収益の減少、エネルギー価格高騰が続く中、将来にわたって持続可能な運営のため、宇治市水道事業経営審議会でも水道事業ビジョン・経営戦略の中間見直しを議論されている。その答申を踏まえ、安全な水道水の確実かつ持続的な供給を継続できるよう取り組んでいく。

答【同部長】 保健室などに配置し、必要に応じて渡す対応を今後も継続する予定である。

市独自で18歳までの医療費無償化を進めるべき

答弁 府の動向等を見定めながら検討していく

問 18歳までの医療費無償化は、来年度予算編成に間に合うのか。市独自で進めるべきではないか。

答【健康長寿部長】 府でさまざまな角度から分析しながら検討されており、来年度予算は現在編成に向けた作業中のため現時点で答えられない。さらなる制度拡充は、府の動向等を見定めながら検討していく。

問 国はOTC類似薬※の保険適用除外について、早期実現可能なものは2026年から実行する方針を掲げている。この類似薬が子どもの医療費の無償化の対象から外れる可能性がないのか不安の声があるが。

答【同部長】 保険適用の見直しに当たっては、子どもや慢性疾患を抱えている方、低所得の方には配慮するとされており、今後の国の議論の動向を注視していく。

※OTC類似薬：処方箋が必要な医療用医薬品のうち、市販薬と成分や効能が似ている薬

一般質問

うじ未来

はっ とり ただし
服部 正 議員



中宇治地域市民協働推進拠点 現在の取組状況は

答弁 公民連携により進めるための事業スキームを検討している

問 つどう、つながる、まなぶ、つむぐをテーマに、中宇治地域市民協働推進拠点の整備構想が3月に策定された。施設の具体的な整備内容と現在の取組状況は。

答【総務・市民協働部長】 施設中央にオープンスペースを設け、多目的、多用途な空間が取り囲むことなどをポイントとした整備内容である。今年度は地域説明と併せ、公民連携により進めるための事業スキームを検討している。

問 多くの市民が集い、気軽に立ち寄れる、持続可能な施設として整備するためには、責任者や担当者から熱意とビジョンが感じられる事業者の選定を。

答【同部長】 優れた他自治体の事例なども参考に、地域の状況等を踏まえ、最適な事業手法を選定していく。

宇治茶ブランドを守るための取組を

答弁 生産支援や世界遺産登録に向けた活動など、ブランド力の維持向上に努めていく

問 宇治茶ブームによる好景気の要因や背景をどう分析しているのか。

答【産業観光部長】 コロナ収束によるお茶会等の再開、健康志向や日本食への関心の高まりによる世界的な抹茶ブーム、そして何よりも高品質な宇治茶への信頼が需要の増大を牽引していると捉えている。

問 後継者や茶園の減少が進む中、茶園や生産者を守るため、宇治茶ブランド力向上を図ることが重要では。

答【同部長】 伝統的な生産方法を守り、全国茶品評会等で賞を取り続けることが宇治茶の高いブランド力の礎となる。覆下栽培への寒冷紗の設置助成、品評会出品奨励金の交付を行うなど生産支援を行っている。また、宇治茶の文化的な景観の世界遺産登録に向けての活動など、宇治茶のブランド力維持向上に努める。

自民党議員団

なか むら ま い こ
中村 麻伊子 議員



若年層に広がるオーバードーズ 市の対策は

答弁 国・府の取組との連携や、各学校で正しい知識の習得と規範意識の向上に努めている

問 近年、オーバードーズ（薬の過剰摂取）が大きな社会問題となっている。特に若年層に広がりを見せ、救急搬送事例も増えている。背景には生きづらさや孤独、孤立等の社会的不安があるとされ、医療、福祉、教育などと連携した対策が必要だが、市の見解は。

答【健康長寿部長】 国では啓発冊子や動画等による周知啓発を、府では電話相談窓口の設置や児童相談所、精神保健福祉センター等との連携を図られており、市としてそれらの取組としっかり連携し発信をしていく。

問 学校で薬物乱用防止教室は行っているのか。

答【教育部長】 全小・中学校で警察OBなどの協力の

下、教室を開催しており、児童生徒一人一人が正しく判断し行動できるよう、薬物乱用の危険性、有害性の正しい知識の習得と規範意識の向上に努めている。

多死社会、火葬使用料の市民負担に対する見解は

答弁 市民負担を抑えた現行制度の趣旨をベースに物価高騰等の影響も踏まえ検討する

問 日本は2040年頃には年間死者数が170万人を超える多死社会を迎えるとされ、市の火葬場は老朽化の対応に加え、死者数の増加や近隣市町からの利用も見据えた体制整備が求められている。行財政改革の観点から運営は民間への委託を進めていくべきだが、一方で使用料の値上げが懸念される。市は現状をどう把握し対策を進めるのか。また市民負担に対する見解は。

答【人権環境部長】 火葬設備は日々の維持管理はもとより炉の更新や大規模な改修などを行ってきた。今後は炉の稼働状況を分析しながら、炉の数や運用方法の課題を検討していく。火葬に係る費用は市民負担を抑えた現行制度の趣旨をベースとして、物価高騰や長寿命化に要する経費の影響も踏まえながら、検討する。

共産党議員団

さか もと ゆう こ
坂本 優子 議員



特異な天ヶ瀬ダム かわまちづくり計画の見直しを

答弁 市民の安全確保の重要性を十分に鑑み推進していく

問 天ヶ瀬ダム再開発事業費は当初計画の2倍の660億円となり、国はこの要因を広範囲に破砕帯が出現し追加対策工事が必要になったためとしている。ダム中央部には南北に幅6mから15mの深くて広い破砕帯を伴うF-0断層が走り、宇治川は山からの伏流水もある等特異なダムと川である。市民の安全確保を最大限視野に入れ、かわまちづくり計画を見直すべきでは。

答【理事】 国は、天ヶ瀬ダムは現基礎地盤がアーチ式ダムサイトとして適合し、安全性を有するとしている。引き続きダムの適切な維持管理を国に求め、同計画は市民の安全確保の重要性を十分に鑑み推進していく。

公明党議員団

にし おか のぶ こ
西岡 伸子 議員



ICTを生かした不登校児童生徒への支援は

答弁 2学期よりタブレットを活用した心の健康観察に取り組んでいる

問 COCOLOプラン※の主な取組の1つに、1人1台端末を活用して児童生徒の健康観察を行い、小さな声を可視化し、心の不安や生活リズムの乱れを教師が確実に把握できることを目指すとある。令和5年6月定例会一般質問の際の答弁では、ICTの強みを生かした不登校児童生徒への支援を引き続き検討することだったが、その後の検討状況は。

答【教育長】 タブレットを活用した心の健康観察は、対面でのやりとりや自分の気持ちを声に出すことが苦手な児童生徒にとって気持ちを伝えやすくなる効果があり、不登校の未然防止や早期の相談支援につながると考え、2学期から本市小・中学校でその取組を始め

問 この計画の市と国の事業費は幾らになるのか。

答【産業観光部長】 市の令和6年度までの事業費は約4300万円で、今年度から2カ年で旧志津川発電所構造健全度調査、旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備として約2億2800万円を想定。国はおよそ6億円と聞く。

猛暑による米、夏野菜などへの影響は

答弁 万願寺トウガラシに斑点が出る、有害虫の発生等の影響があった

問 今年6月から9月の日本の平均気温は、統計を取り始めてから最も高くなった。猛暑による渇水と高温で、米だけでなく、夏野菜などにも影響が出ている。市内の状況はどうか。

答【産業観光部長】 農業関係者から、影響のない夏野菜もあったが、万願寺トウガラシに黒い斑点が出る、有害虫の発生等の影響があったと聞いている。

問 用水路ポンプのくみ上げには電気代もかなりかかる。市で支援を行うべきと考えるが。

答【同部長】 農業生産性等向上支援事業や新規水源確保支援などの取組により農業者支援を行っている。

ている。効果や課題は今後検証するが、全ての児童生徒が安心して過ごすことができる居場所づくりや心の健康を見守る環境の充実に努め、社会的自立を目指し一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援を行う。

市道春日森落合線の安全対策を

答弁 速度抑制を促す路面標示などの安全対策を検討し、京都府警と協議を行っていく

問 市道春日森落合線は、信号がなく見通しがよいため、スピードを出す自動車が多い。近鉄向島駅を利用する歩行者や自転車も多い中、京滋バイパスから北側は車道や歩道も狭く、また、歩道は片側しかないため、通勤通学時間帯は特に危険な状況だ。住宅が立ち並んでおり、容易に道路拡幅ができないことは理解するが、安全対策が必要だ。市の見解は。

答【建設部長】 地域からの声もあり、速度抑制対策が必要と考えている。自転車を含め利用者がより安全に通行できるよう、車両の速度抑制を促す路面標示などの安全対策を検討し、京都府警と協議を行っていく。

※COCOLOプラン：文部科学省が取りまとめた、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策

一般質問

無会派

おぎ はら とよ ひさ
荻原 豊久 議員



不適切保育等に今後の対応は

答弁 市民の皆様とともに子どもを育てられる環境づくりに取り組んでいく

問 令和7年度保育所運営ハンドブックにもあるように虐待を未然に防ぎ保育の質を高めるには、保育現場を意見交換しやすい環境にしておく必要がある。今回、不適切保育等が発覚した公立保育所での日々の保育実践の振り返りはどうであったのか。

答【福祉子ども部長】 これまでから振り返りや意見交換を行ってきたが、不適切保育等に対する理解の徹底や発生した際の対応方法等の周知が不十分であった。

問 京都府保育協会では第三者評価の積極的受審を推奨し、その評価内容を公表している。民間園は積極的に受審しているが、本市公立保育所はこの20年余りで

1園の1回となっている。人権に配慮した保育サービス向上に取り組むために積極的に受審するべきでは。

答【同部長】 現行の第三者評価は経営状況など、公立保育所にはなじまない項目も一部あるが、第三者からの視点を踏まえ課題の改善を図る取組は保育の質の向上及び不適切保育等の防止に資するものと考えており、その手法について検討していきたい。

問 宇治市の子育ては民間も公立も関係なく手を携えて一緒に頑張っていくべきだ。今後の子育て支援は。

答【市長】 これまで子育てにやさしいまちづくりを掲げ、きめ細やかな支援を推進してきた。今回の事案は保育行政に対する信頼を著しく失墜させる事態となり、大変重く受け止めている。宇治市の中で育つ子どもを中心に考え、今後も保護者が安心して子どもを預けられ、市民の皆様とともに子どもを育てられる環境づくりに取り組んでいく。



共産党議員団

みや もと しげ お
宮本 繁夫 議員



庁舎警備業務の民間委託、丁寧な説明がない

答弁 第8次行政改革の一環として予算提案しており、改めて常任委員会で詳しく説明する

問 議会基本条例で議会は、市民を代表する議決機関であることを自覚し、市長及び他の執行機関の市政運営の監視、評価及び調査を行い、必要な議決をするところがある。ところが、さまざまな施策について、議会に十分な報告がされずに、いきなり議決を求められる事案がある。議会と執行部の関係、在り方について考えは。

答【政策企画部長】 二元代表制の下、それぞれが市民から直接選挙で選ばれた市民の代表として、常に適切な緊張関係を保ち市民福祉の推進に取り組むという考えで、計画や政策、施策は適切な時期に丁寧に議会へ説明することが重要であると考えている。

問 9月定例会で庁舎の警備業務を民間委託する予算が提案されている。土日祝日や夜間の市役所閉庁時には、市職員である警備員が婚姻・出生・死亡届などの受付をしているが、民間委託した場合、個人情報などを扱うのか等、施策の今後の在り方において重要な内容を含んでいるのに丁寧な説明がない。

答【市長】 今回の庁舎管理は、第8次行政改革の民間への委託の一環として予算提案している。市民への対応については、改めて常任委員会で詳しく説明する。

西小倉小中一貫校の新たな通学路の安全対策は

答弁 市道小倉安田線と市道小倉町11号線の交差点の横断歩道は年度内の設置に向け調整中

問 来年4月開校の西小倉地域小中一貫校の新たな通学路になる市道小倉安田線と市道小倉町11号線の交差点は、一部横断歩道が整備されておらず、歩行者用信号機もないが安全対策はどのように進んでいるのか。

答【建設部長】 同交差点の横断歩道は歩道の改良も含め年度内の設置に向け調整中で、歩行者用信号機は設置が可能か、京都府警と協議を進めている。

常任委員会

行政視察報告

総務常任委員会

日程：8月25日・26日

◆視察先・視察項目

【千葉県市川市】 ●ワンストップ窓口とDX（窓口予約システム等）について

【東京都江戸川区】 ●AIを活用した被害把握システムについて



(江戸川区)

産業・人権環境常任委員会

日程：8月4日・5日

◆視察先・視察項目

【東京都港区】 ●環境学習施設エコプラザについて

【神奈川県横須賀市】 ●横須賀市観光立市推進アクションプランについて



(港区)

建設・水道常任委員会

日程：8月4日・5日

◆視察先・視察項目

【千葉県君津市】 ●ドローンを活用した橋梁点検について

【千葉県柏市】 ●下水道劣化ハザードマップについて



(君津市)

文教・福祉常任委員会

日程：8月7日・8日

◆視察先・視察項目

【東京都国分寺市】 ●重層的支援体制整備事業について

【東京都立川市】 ●立川市学校給食東共同調理場について



(立川市)

議会改革に関する調査・検討について(諮問)

宇治市議会は、市民の信託に応えられる議会であるために、これまでから常に議会の在り方について協議を重ね、議会改革に関する調査・検討を進めてきました。

このたび、令和7年9月に前期議会でまとめられた答申等を踏まえ、早期に取り組むべきもの等について議長から議会運営委員会に対して諮問されました。



議長から議会運営委員会委員長へ諮問書を提出

【諮問内容】

1. ICTを活用した業務効率化の推進について

- L I N E W O R K S（ラインワークス）を活用した議会情報の共有
- オンラインシステム（Z o o m等）の活用
- 議会表示盤のデジタル化

2. 議会における環境負荷軽減に向けた取組について

- 定例会等におけるペーパーレス化の推進
- 通知文書や情報提供資料等の紙配付からデータ送信への移行
- 配付冊子等の見直し

3. 大規模災害が発生したときの議会の機能の維持及び役割について

- 大規模災害時の情報の一元化及び議員の安否確認



行政視察報告

日程：8月27日・28日

◆視察先・視察項目

【東京都調布市】 ●議会基本条例の検証について

【東京都大田区】 ●ワークスタイル変革に向けた取組について

●ICT化の取組について



(調布市)

決算特別委員会14人で審査

9月定例会最終日に、令和6年度宇治市一般会計歳入歳出決算をはじめとする決算関係7議案が市から提出され、14人の委員で構成される決算特別委員会に付託されました。

委員長	おかもと 岡本	さとみ 里美			
副委員長	にしかわ 西川	みよこ 美代子			
委員	まつみね 松峯	しげる 茂	いまがわ 今川	みや 美也	みやもと 宮本
	おおかわ 大河	なおゆき 直幸	とくなが 徳永	みき 未来	なかむら 中村
	にしかわ 西川	やすし 康史	とりい 鳥居	すすむ 進	かながさき 金ヶ崎
	おぎはら 荻原	とよひさ 豊久	ささき 佐々木	まゆみ 真由美	ふじた 藤田
					ともはる 智晴

審査は、10月23日から11月7日までのうち、7日間にわたって行われました。

決算審査報告は、次号でお知らせします。

議員茶道講習会

議員自らお茶に対する知識を深め、お茶の作法を習得することを目的に、議員茶道講習会を9月18日に開催しました。

市役所7階第3応接室（茶室）にて、宇治市茶道連盟から講師をお招きし、和敬手前にて薄茶のいただき方を学びました。



宇治市は、「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」を制定しています。

市町村議会広報研修会

8月29日

「戦略的広報と議会報づくりの型」

講師：金井 茂樹 氏

（一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事）



ANAクラウンプラザホテル京都にて

広報委員会では、議会の役割や仕組み、活動を分かりやすく伝え、市民の皆様の議会に対する関心を高めることを目的に、議会広報紙の作成に取り組んでいます。

また、より良い内容とするために、研修を受講するなど、日々工夫と改善に努めています。

虚礼廃止のお願い

政治家（候補者、候補者になろうとする者、現に公職にある者）の寄附は罰則をもって禁止されています。有権者が勧誘・要求することも禁止されています。

また、選挙区内で、年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）を出すことも禁止されています。

市民・各団体の皆様には、ご理解をお願いいたします。

議会をご覧ください

本会議の傍聴について

議会棟4階の傍聴席入り口で、住所、氏名を受付票にご記入いただき、受付箱に投函の上、資料を取って議場傍聴席にお入りください。

傍聴席に
モニターを設置

傍聴席でリアルタイムに字幕付きの映像が見られます。（一般質問時に実施）

質問や答弁の内容が文字化され、やり取りの様子も映るため、聴覚に不安のある方も含め、皆様にわかりやすく議会をご覧くださいことができます。

委員会等の傍聴について

議会事務局で傍聴申込書に住所、氏名、傍聴を希望する案件名を記入して委員長（議長）に申し込みをしてください。委員長（議長）は原則として許可し、「傍聴許可証」を交付します。開会予定時刻の30分前で定員（第1・第2委員会室は10人、第3委員会室は20人）を超える場合は抽選、超えない場合は先着順となります。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
（電話：0774-20-8747）

アンケート
はこちら



議会だよりへ
ご意見・ご感想を
お寄せください



議会の動画 配信中

議会での活発な議論が
リアルタイムでご覧いただけます！

宇治市議会では、本会議や常任委員会等をインターネットで動画配信しています。



上の二次元コードを読み取ることで宇治市議会YouTubeのリンク先にアクセスできます。

市議会ホームページからでもアクセスできます。

～ホームページからの閲覧方法～



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のバナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

※宇治市議会トップページ最下部の公開用スケジュールからもアクセスできます。

次回定例会のお知らせ 12月2日～12月24日 開催予定

令和7年 12月

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25 議会運営委員会	26	27	28	29
30	1 議会運営委員会 請願提出締切	2 本会議 (開会・提案説明等)	3	4 議会運営委員会 本会議	5	6
7	8	9	10	11	12 予備日	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 議会運営委員会	24 本会議 (閉会)	25	26	27
28	29	30	31			

最新の情報は市議会ホームページにてご確認ください。